

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2016

9月

No.135



特集

P2・3

赤い羽根共同募金運動

70回目の募金活動

赤い羽根共同募金2016

ひ孫と
いっしょ

シリーズ 134

山崎町 木谷

なかしま ひでこ
中嶋 秀子さん(85歳)

たい が
○太鷲くん(6歳)

いち や
○壹哉くん(1歳)

なかしま きょうへい さち
中嶋 享平さん・幸さん

■長男・二男

70回目の募金活動

特集 赤い羽根
共同募金 2016

赤い羽根共同募金運動

10月1日(土)~12月31日(土)
今年もよろしくお願ひします。



共同募金がスタートした
昭和 22 年 (1 回目)



大きな赤い羽根が印象的
昭和 41 年 (20 回目)



ピンクレディーが登場
昭和 53 年 (32 回目)



そして今年
70 回目のポスター



モデルは女優の石原さとみさん
穴栗市が誕生した平成 17 年
(59 回目)



いわさきちひろさんの
イラスト
平成 8 年 (50 回目)

昭和22年(1947年)に始まった赤い羽根共同募金運動は、地域福祉活動やボランティア活動を支える募金として、今年70回目を迎えます。

長年にわたりご協力いただいた寄付者のみなさまに心よりお礼申し上げますとともに、穴栗をもっと良くするために、今年もみなさまのあたたかいご協力、ご支援をよろしくお願ひします。

宍粟で集めた募金の9割は、
宍粟のために活用されます。
そして残りの1割は、災害支援など
市域を超えた広域的な課題を
解決するために活用されます。

平成27年度、宍粟市では8,190,038円の募金をお寄せいただきました。今年度はそのうちの約9割、7,271,000円が「共同募金配分金」として宍粟に戻り、宍粟の地域福祉活動に活用されています。

今年度の募金目標額は8,500,000円を設定しています。みなさまのご協力をお願いします。



○小地域福祉活動の推進に
(4,225,000 円)



助成金申請
受付中

○地域の居場所づくり応援
助成事業に (300,000 円)



○ひとり暮らし高齢者等への配食
サービスに (874,000 円)



○移動が困難な方のための
移送サービスに (960,000 円)



○社協の広報活動に
(912,000 円)

問合せ先
宍粟市共同募金委員会
(宍粟市社会福祉協議会内)
☎ 72-8787

日程
10月3日(月)
・Aコープちくさ店 午前11時～
・Aコープ波賀店 午後4時30分～
10月4日(火)
・咲ランド 午前10時～
・ショッピングセンター 午前10時30分～
10月5日(水)
・道の駅播磨いちのみや 午前10時30分～

昨年度の街頭募金
(H27.10.14
道の駅播磨いちのみや)



宍粟市共同募金委員会では、
共同募金運動中に、市内のイベ
ントや大型店舗等で、街頭募金
活動に取り組みます。
ご協力をお願いします。

街頭募金のお知らせ



読者の
感想より

8月号で平成21年の被害の写真が載っていましたが、私が住んでいる福知です。今ではきれいに道もなりましたが、あの時の恐怖は頭から消えません。これから先、何事もないようにと願っています(一宮町 女性)

やさしさ
まさき

お盆はみんなでソフトボール

葛根根心会

8月14日(日) 早朝8時、葛根自治会の住民をはじめ帰省中の親戚や若者約百人が土万グラウンドに集まり、隣保対抗「ソフトボール大会」が開催されました。

この大会は、お盆の恒例行事で40年以上も続いているそうです。

広島県から帰省中の田内一志さんは、「お盆と言えどソフトボール。故郷はいいなあと思える行事ですね」と笑顔で参加されていました。

鈴木千秋自治会長は、「大勢帰ってきて、和気あいい絆を深めとるで。『葛根根心会』と協力して、これからも続けたいね」と抱負を語られました。

有志で結成された葛根根心会の会員は64人。年間を通して住民みんなが参加して楽しめる自治会行事を企



観客席から温かい声援や野次!?が飛び交い、グラウンドに大きな笑い声が響きます(土万グラウンド)

画運営されています。

会長の谷口隆博さんは、「楽しい地域にしたいね。楽しいとみんな帰ってくるからね」と、慌ただしい中でもお盆だからこそ、みんなで集まる機会を大切にされています。

このように、住民と有志グループが協力しながら地域行事を進めることは、活気あるまちづくりの重要な力ぎです。

人が集い顔を合わせておしゃべりし、地域の絆が深まっていくといいですね。

(山崎支部 山本めぐみ)

いのちのみや

ほっこりした場所に…

ことばの相談室「ひなたぼっこ」

7月に一宮町東市場に開設された、ことばの相談室「ひなたぼっこ」は、ことばに遅れのある子どもたちが通い、コミュニケーションを育む「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」を行う場所です。



「ひなたぼっこ」のスタッフは3名。施設は、古い家屋を増改築した、明るく快適な空間となっています

ひなたぼっこが始まったきっかけは、障がいのある子どもを育てるお母さんが、不安な気持ちでいることが気になったからだそうで、「何とか元気になる取り組みをと、あれこれ考えてやってきたらこうなりました」と、開設された山本正志さんから話を伺いました。

相談室がお休みの毎月第2・4木曜日には、ことばの障がいのある人のカフェも開かれており、8月25日(木)には、4組の方が言語聴覚士の山本博香さんのサポートを受けながら、おしゃべりのひと時を過ごされて

いました。

「知り合いの家に集まって相談しているような、ほっこりした場所に」との願いのこもったひなたぼっこは、障がいのあるご本人だけでなく、家族もサポートする居場所だと感じました。

ひなたぼっこに興味のあるみなさん、おしゃべりを楽しみにお越しください。

(一宮支部 可藤和成)

お問合せは、ことばの相談室「ひなたぼっこ」 ☎72-23387 (山本さんまで)

や・い・は・ち トピックス

は
が

毎月1回のおもてなし

カトレアの出前ふれあい喫茶

グループホームささゆり（波賀町上野）は、認知症や介護が必要な高齢者の方々が、専門スタッフによる援助を受けながら共同で生活される施設で、現在18人が生活されています。

9月3日（土）、同ホームで出前ふれあい喫茶が行われると聞きし、訪問しました。

出迎えてくれたのは喫茶を運営するボランティアグループ「カトレア」のみなさんです。

メンバーは斉木1区自治会の有志で結成され、地元で行っているふれあい喫茶の経験を活かし、この9月から本格的に出前喫茶の活動をスタート。この日は5人で入居者のみなさんをおもてなしました。



「こちらへどうぞ」笑顔でみなさんをお出迎え（グループホームささゆり）

とても喜んでいただき私たちもがんばろうという気持ちになります」と話されました。

毎月1回の交流として今月からスタートしたカトレアによる出前喫茶。これからもみなさんの「笑顔」のおもてなしで、入所者の方々と交流が長く続くように期待しています。

（波賀支部 田中祥仁）

ここに来るのが楽しみやね

宍粟市千種B&G海洋センター

8月19日（金）、宍粟市千種B&G海洋センター「千草」を訪ねました。

今年7月にオープンしたこの施設は、温水プールが30度の設定で一年中利用することができ、歩いたり泳いだり自分の体力に合わせて選べるようにコースが分かれています。

水中でウォーキングをされている方々は、「ここに来るのが楽しみです。いいしみでね。いい

運動になるし、膝が痛かったのも治ったんですよ」「ここに来たら初めて会った人とも気軽に話ができるですね」と、楽しそうに話されます。

所長の小久保悠樹さんは、「健康増進はもちろん、ここに来れば誰かいるだろうと地域のみなさんの集う場にしてほしいですね。会



「毎日1時間、歩きよるんやでえ」（宍粟市千種B&G海洋センター）

話しながらウォーキングしていると有酸素運動にもなるんではないですよ」と、笑顔で語っていただきました。

子どもからお年寄りまでたくさんの方が温水プールを利用し、体力づくりや交流の場、さらには地域の活性化につながる施設となるようこれからが楽しみです。

（千種支部 横山洋子）

ち
くさ



いつもありがとう 「声の便り」

朗読ボランティア「ふきのとう」と「デイジー 穴栗」では、毎月発行の広報紙「こんにちは! 社協です!!」と「広報しそう」を録音、編集し、活字情報を音声で伝える「声の便り」を作製されています。

目の不自由な方や福祉施設など、利用をご希望の方は各支部へお問い合わせください。



高岸美鈴さん (千種町)

利用者の方から メッセージ

「声の便り」を利用して18年になります。家事をしながら、情報を得ることができて、本当に助かっています。

ボランティアのみなさんは、録音や編集と大変な作業だと思います。いつもありがとうございます。

△問合せ:各支部

「福祉学習」 をお手伝いします



穴栗市社協では、地域や学校、事業所で「福祉」を学び、考える機会を持っていただけるよう福祉学習を推進しています。福祉学習についてのご相談(学習テーマの設定や福祉教材の貸出し等)は、各支部へお問い合わせください。

地域 アイマスク体験



学校 盲導犬、点字体験



事業所 車イス体験



～福祉教材貸出備品～

- ・点字版・アイマスク・白杖
- ・点字ブロック・車イス
- ・高齢者疑似体験グッズ

※詳しくは

穴栗市社協

検索

△問合せ:各支部

バスに乗って参加したよ!



穴栗防災センター

防災体験



- ★地震のことがよくわかりました。(小5・男子)
- ★将来、消防士になりたいと思った。(小3・男子)

7/27 (水)

～夏休みボランティアスクール 2016～

講師として地域の方々に協力していただき、様々な体験教室を開催しました。路線バスに乗って市内にあるそれぞれの会場へ行き、たくさんのことを学びました。その頑張っている姿や感想の一部を紹介します。



- ★とてもたのしかったです。(小3・女子)
- ★お父さんやお母さんにもやってあげたいです。(小5・女子)

- ★上手に絵がかけてよかった。(小3・女子)
- ★先生たちにいろいろなことを教えてもらい、いい絵がかけました。(小5・男子)



一宮保健福祉センター

マジック体験



8/3 (水)



メイプル福祉センター

盲導犬学習



- ★もし目が不自由な人が困っていたら助けてあげる。(小4・男子)
- ★盲導犬はとってもかしこい犬なんだと思いました。(小5・男子)

8/10 (水)



エーガイヤちくさ

絵手紙 ボランティア体験



8/17 (水)